

仏像彫刻は仏像である以前に、まずは人の形で表現される以上人体です。でも、人体という複雑な形をそのまま理解するのは初めは難しいでしょう。ではもっと単純な形を考えてみます。

身近な素材として例えばコーヒーカップにしましょうか。人体にしろ、コーヒーカップにしろ立体です。立体は縦、横、高さの3つの方向から表現されます。

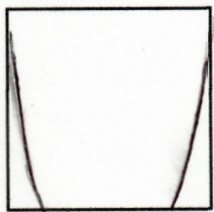


例えばこのコーヒーカップを図面として書いてみてください。

縦、横、高さというよりは正面、側面、てっぺん、とした方が理解しやすいでしょうか。

どこを正面とみるかは置いといてこれを3つの方向から見ると

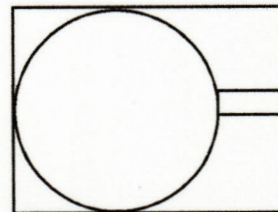
正面



側面



てっぺん



3つの方向からの形をとらえられれば、このコーヒーカップの形はわかるということです。

まずはこの正面、側面、てっぺんという見方を手に入れてください。立体に取り組む上で土台になる考え方です。



らも
あなたの
そばにいるよ